

平成 21 年度第 2 回理事会議事録

日時：平成 22 年 3 月 27 日（土）18 時～

場所：ルノワールド四谷店 貸会議室

出席：竹下会長、加瀬副会長、本多副会長、三澤専務理事、逢澤理事、安宅理事、
越田理事、長浜理事、野田理事、平瀬理事、矢野理事、吉澤理事 計 12 名

欠席：霜田常務理事、牛尾理事 計 2 名

委任状提出：相屋理事、片岡理事、田尻理事、吉野理事 計 4 名

三澤専務理事が開会を宣し、本日の総会は法定数を満たしているので有効に成立する旨を告げ、竹下会長より開会の挨拶があったのち議長選任を諮ったところ、全員異議なく三澤専務理事を選任したので、同氏が議長となり、議事の審議に入った。

審議事項

1. 平成 22 年度事業計画（案）及び予算（案）について

議長が、平成 22 年度の実業計画（案）及び予算（案）について原案を朗読説明し、逐次説明審議をし、その後これを諮ったところ、全員異議なく原案通り承認可決した。

2. 新公益法人への認可申請について

逢沢理事が、『一般社団法人 日本セパタクロ協会定款（案）』に基づき、認可申請までの手順及び定款作成にあたっての留意点などについて説明を行った。その後定款（案）について諮ったところ、主たる事務所の所在地や社員の定義など不確定要素があるため、6 月開催予定の決算理事会までに詳細をさらに詰めた上で、継続審議とすることで了承された。

3. 第 16 回アジア競技大会（2010/広州）への役員・選手派遣について

議長が、日本代表選手団派遣手続き要領について説明を行い、3 月 17 日の JOC との個別折衝において、当協会から役員 6 名、選手 18 名（男女各 9 名）の派遣希望人数を提出した旨報告があった。その後、役員・選手の派遣について諮ったところ、原案どおり全種目（チーム、レグ、ダブル）に選手を派遣することで、全員異議なく承認可決した。

4. 創立 20 周年記念祝賀会兼アジア大会壮行会について

議長が、開催の趣旨説明を行い、9 月 20 日（月）の開催を提案したところ、全員異議なく承認可決した。会場については、複数の候補先に打診することで了承された。

5. スポーツ仲裁に関する規則について

議長が、「日本セパタクロ協会のする競技に関する決定に対する競技者の不服申立は、日本スポーツ仲裁機構のスポーツ仲裁規則に従ってなされる仲裁により、解決されるもの

とする。」を本理事会の決定事項として取り扱いたいと諮り、全員異議なく承認可決した。

6. セパタクロ選手の体力調査について

長浜理事より、強化選手の体力調査を実施したいとの提案があり、諮ったところ異議なく承認可決した。なお、日程や調査内容などは、追って調整することとなり、実施に関する詳細を長浜理事に一任することです承された。

7. 新理事の推薦について

逢沢理事より、柴野 多伊三 氏を理事に推薦したいとの発言があり、諮ったところ全員異議なく承認可決した。

報告事項

1. (財)日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) への加盟について

議長より、アジア競技大会の参加にあたって、JADA への加盟が義務化されたことから、平成 21 年 9 月 4 日付で加盟団体申請を行い、認可を受けた旨報告があった。

2. 日本代表チームへの協賛について

議長より、日本代表チームへの協賛企業を募ったところ、平成 22 年度については、4 企業と合意に至ったとの報告があった。

3. JOC 総務委員会、選手強化本部会の会議内容について

本多強化委員長と三澤専務理事より、それぞれが出席した JOC の各会議の内容について報告があった。

4. タイ国における日本選手のプロモーション活動 (案) について

竹下会長より、タイ国における日本選手のプロモーション活動 (案) 『仮称：タクロートランスナショナル』について、牛尾国際交流副委員長からの提案事項が報告された。

5. 学生連盟の役員について

竹下会長、本多副会長、三澤専務理事が、それぞれ学生連盟会長、副会長、事務局長を引き続き兼務することが報告された。

以上を以って議事を終了し、理事会を閉会した。

以上